

## 取組高から考える相場（金と白金）

9月9日(月)

9月2日から6日までの金は前週末より17円値下がりして、一般投資家（投資家、取次者経由）は6,344枚、買い越しました。

2019年9月6日取引終了時点

カテゴリ別取組高表（週間増減）

カテゴリ	投資家		取次者経由		先限帳入値段
	売	買	売	買	前週末比
金（標準取引）	49,203	49,060	8,347	8,465	5,202
	▼1,206	△4,222	▼278	△638	▼17

トータルは25枚の売り越しです。

続いて一般投資家（投資家、取次者経由）日々の玉の動き、NY金ETF残の推移です。

国内金・取組内容・値段推移						NY金・ETF残高・値段推移			
日付	取組高(枚)	投資家・取次者経由 差引買残（一は売越）	投資家・取次者経由 買残前日比(枚)	先限終値	前日比	日付	残高(t)	前日比(t)	NY金終値 (主要限月)
14日	77,596	-19,228	△406	5,122	▼15	14日	844.29	△7.63	\$1,527.8
15日	77,912	-20,177	▼949	5,155	△33	15日	844.29		\$1,531.2
16日	78,654	-16,841	△3,336	5,166	△11	16日	843.41	▼0.88	\$1,527.8
19日	79,516	-15,315	△1,526	5,145	▼21	19日	843.41		\$1,511.6
20日	80,429	-15,610	▼295	5,115	▼30	20日	845.17	△1.76	\$1,515.7
21日	80,482	-16,215	▼605	5,135	△20	21日	851.91	△6.74	\$1,515.7
22日	80,930	-14,980	△1,235	5,122	▼13	22日	854.84	△2.93	\$1,508.5
23日	81,118	-14,521	△459	5,108	▼14	23日	859.83	△4.99	\$1,537.6
26日	80,586	-17,547	▼3,026	5,206	△98	26日	859.83		\$1,537.2
27日	79,122	-14,416	△3,131	5,195	▼11	27日	873.32	△13.49	\$1,551.8
28日	83,356	-11,067	△3,349	5,224	新需	28日	882.41	△9.09	\$1,549.1
29日	83,987	-11,550	▼483	5,245	△21	29日	880.36	▼2.05	\$1,536.9
30日	86,500	-6,369	△5,181	5,219	▼26	30日	878.31	▼2.05	\$1,529.4
9月2日	88,253	-3,704	△2,665	5,189	▼30	9月2日	海外休場		
3日	87,566	-5,120	▼1,416	5,198	△9	3日	890.04	△11.73	\$1,555.9
4日	84,505	-8,468	▼3,348	5,241	△43	4日	895.01	△4.97	\$1,560.4
5日	85,338	-8,588	▼120	5,277	△36	5日	889.75	▼5.26	\$1,525.5
6日	88,850	-25	△8,563	5,202	▼75	6日	889.75		\$1,515.5

9月2日から6日は17円の値下がりの週でしたが、6,344枚買い越して一般投資家（投資家、取次者経由）の玉は25枚の売り越しと、一気に玉の偏りがなくなりました。4,700円から売り越していた一般投資家（投資家、取次者経由）は5,200円でふたをした格好です。安い日に買った、高い日に売ったりと、やりくりはしましたが、恐らくやられた人が多かったと思います。これで金相場はひと段落付いたのでしょうか？

NY金、ファンドの取組推移を見てみましょう。

NY金の大口投機玉（オプション取引を含む）			
日付	取組高(枚)	差引買残（一は売越）	主要限月終値
7月2日	1,031,393	294,823	\$1,408.0
9日	1,010,098	274,555	\$1,400.5
16日	1,038,695	279,274	\$1,411.2
23日	1,088,147	279,831	\$1,421.7
30日	964,960	292,847	\$1441.8（12月）
8月6日	1,112,432	346,623	\$1,484.2
13日	1,183,351	344,267	\$1,514.1
20日	1,189,816	349,647	\$1,515.7
27日	1,215,303	361,373	\$1,537.2
9月4日	1,217,186	364,698	\$1,560.4

9月4日までの中身ですが、取組高、差引買残、値段をみても全て一番玉が多く値段が高いのが分かります。エネルギーが溜まっている感じです。これを見るとまだひと波乱もふた波乱もありそうですね。

国内の9月2日から6日を振り返ってみて金の動きで特徴的だったのは、8月の月末と週末の30日に、引いた包みの陰線がダマシになったことと香港問題は金に影響を与えず、米中問題進展で金が下落したことですかねえ。

8月30日に包みの陰線を引いたにもかかわらず、米国は3連休明けの9月3日火曜日から買い直して上げてきて、9月4日水曜日には香港の逃亡犯条例改正案の完全撤回で金の弱材料にもかかわらず9月5日の夜間取引では高値更新でしたからねえ、

つまり週末や月末、年度末など区切りの日に引いた、トレンド転換になりそうなチャートはダマシになりやすいということです。

まあその後、金は米中問題進展と株高で大きく下げましたけど。

東京金の週末の日足チャートを見てみましょう。



そしたらまた、東京金のチャートは **9月6日に包みの陰線**を引いているんですね、**今回も週末**なんですよ。

**8月30日の包みの陰線**は月末、週末、米国3連休前だったので**ダマシ**になりそうだとは思ってんですけど、

**9月6日の包みの陰線**は米中問題進展の形で引いて、次の日に雇用統計通過やFRB議長の講演を受けて戻りを売られた線なんですよ、短期のトレンドラインも割って、上値抵抗に遭った動きをしましたから個人的には、一回調整が入りそうな気がします。

ちなみに金が下げ始めたタイミングは、米国の好調なADPと米中問題進展から**米国株**は日本時間22時30分より、**ギャップアップ**でスタートし、**時を同じくして金が売られ始めた格好**でした。

その時の東京金の5分足です。



続いて**白金**を見てみましょう。

2019年9月6日取引終了時点

カテゴリ別取組高表 (週間増減)

カテゴリ	投資家		取次者経由		先限帳入値段
	売	買	売	買	前週末比
白金 (標準取引)	18,872	20,342	6,699	8,488	3,237
	△ 3,838	▼ 3,775	△ 64	▼ 915	△ 81

9月2日から6日までの**白金**は前週末より**81円値上がり**して、一般投資家（投資家、取次者経由）は**8,592枚**、**売り越**しました。

トータルは**3,259枚**の**買い越し**です。

続いて白金の一般投資家（投資家、取次者経由）の玉の動きと金の鞘を見てみましょう。

国内白金・取組内容・値段推移・（金と白金の価格差推移）

日付	取組高(枚)	投資家・取次者経由 差引買残(枚)	投資家・取次者経由 買残前日比(枚)	先限終値	前日比	(金-白金)終値
8月16日	51,816	26,860	▼ 672	2,859	▼ 30	2,307
19日	51,006	26,233	▼ 627	2,917	△ 58	2,228
20日	50,805	25,911	▼ 322	2,937	△ 20	2,178
21日	50,551	27,092	△ 1,181	2,908	▼ 29	2,227
22日	50,828	26,525	▼ 567	2,917	△ 9	2,205
23日	50,923	24,213	▼ 2,312	2,953	△ 36	2,155
26日	50,552	24,729	△ 516	2,923	▼ 30	2,283
27日	50,236	24,972	△ 243	2,927	△ 4	2,268
28日	50,620	23,130	▼ 1,842	2,964	新甫	2,260
29日	49,887	16,512	▼ 6,618	3,101	△ 137	2,144
30日	49,453	11,851	▼ 4,661	3,156	△ 55	2,063
9月2日	48,093	8,510	▼ 3,341	3,198	△ 42	1,991
3日	47,468	6,481	▼ 2,029	3,189	▼ 9	2,001
4日	46,690	3,360	▼ 3,121	3,290	△ 101	1,951
5日	46,972	3,600	△ 240	3,353	△ 63	1,924
6日	47,037	3,259	▼ 341	3,237	▼ 116	1,965

東京白金も東京金と同様に取組が軽くなりました。3,410 円まで上昇する場面がありましたからねえ、ただ金との鞘で引っかかっている分、買い越しが残っている感じです。

続いて NY 白金、ファンドの取組推移を見てみましょう。

NY白金の大口投機玉（オプション取引を含む）

日付	取組高(枚)	差引買残（一は売越）	主要限月終値
6月18日	93,721	1,427	\$802.0
25日	90,621	1,425	\$809.8
7月2日	83,000	9,329	\$833.5
9日	81,254	6,023	\$815.1
16日	79,470	16,170	\$846.9
23日	78,909	21,158	\$861.6
30日	78,390	26,325	\$872.6
8月6日	77,393	22,182	\$853.2
13日	78,850	22,054	\$859.7
20日	79,388	19,964	\$852.8
27日	80,121	23,951	\$857.8
9月4日	92,489	35,475	\$984.2

さて海外はここに来て取組高、差引買残を大きく増やし、価格も大きく上昇した形です。新規の買いが入っている感じです。白金にしては久しぶりに強い形ですねえ。

東京白金の日足を見てみましょう。



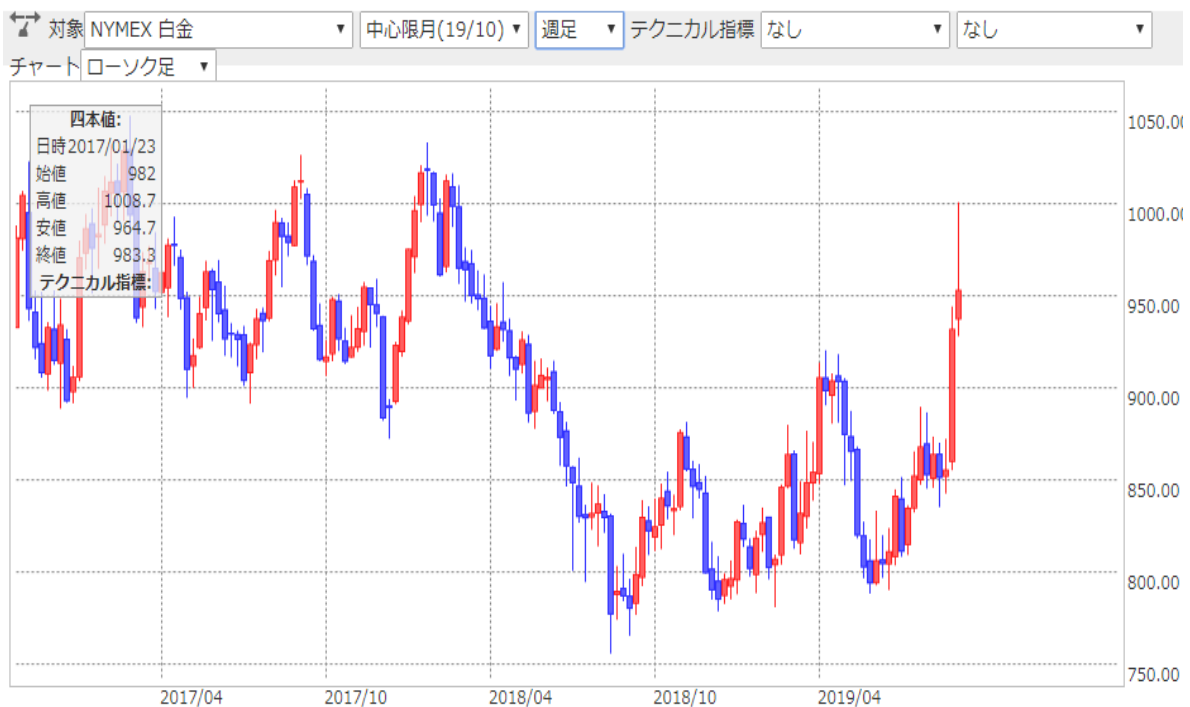
NY白金の日足も見てみましょう。



まず東京白金の日足を見て気になるのは、9月6日に包みの陰線を引いているところとですね、上昇が急だったので、急落もやむを得なかったところでしたから。3,200円辺りで止まるか？といったところです。

そしてNY白金の日足は久しぶりの1,000ドル台タッチからの達成感で下がった格好です。

NY白金の週足です。



1,000ドルタッチからの上髭が長いです。NY白金は1,000ドル台が中々定着しないんですよ。

ここから白金が上に行くには、NYでの資金の流入が必要です。

そして金と白金の鞘を縮めるには、金が強すぎたので、金が弱まる必要があります。

金が弱まり、白金を強めるには、米中問題の進展と解決が一番早そうです。しかし米中問題とトランプ大統領の発言は投資家を常に振り回していますからねえ、大統領の発言についていこうとすると、反対の発言をされちゃうから難しいところですね。